

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 アドボカシー推進協会宝塚

1	事業名	わくわく粋なく世界一周 in 宝塚
2	事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	
	実施日 2024年7月21日（日）11時～16時 場所 宝塚芸術文化センター おおやね広場およびホワイエ 参加者数 300名ほど 後援 宝塚市、宝塚市国際交流協会、（特）宝塚市国際観光協会、（公財）宝塚市文化財団、生活協同組合コープこうべ、JICA 関西、住友ゴム CSR 基金 内容 普段あまり触れることのない海外の文化を、それぞれの国の出身者またはゆかりがある日本出身者に紹介してもらった。会場内にそれぞれの国のコーナーを設置し、展示やワークショップやフェアトレード物品販売、飲食物販売などを行った。また、ステージを設置し、演奏やダンスを体感できるようにした。来場者はそれらのコーナーを巡り各文化を体感すると共に、スタンプラリーに参加する者はマップにあるそれぞれの箇所に判子をもらい、「わくわく粋なく世界一周」をした思い出を乗せて持ち帰った。 紹介した国、地域、民族 ・ ウクライナ（写真展示） ・ スウェーデン（絵本コーナー、絵本関連グッズ展示、絵本翻訳者の色紙展示） ・ アメリカ（英語で工作ワークショップ） ・ ドミニカ共和国（文化紹介） ・ ハイチ（コーヒー販売） ・ 中国（工作ワークショップ、食品販売） ・ パレスチナ（フェアトレード物品販売） ・ ルワンダ（フェアトレード物品販売、コーヒー販売） ・ ケニア（写真展示） ・ セネガル（衣装を着て AR 写真撮影） ・ アフリカ（工芸販売、体験） ・ マリ（英語で塗り絵） ・ ロヒンギャ（写真展示） ・ デンマーク（飲食物販売） ・ ネパール（食品販売） ・ 日本（ワークショップ、多言語相談、ディスカッション）	
3	市制 70 周年をお祝いした内容	
	人々が住み続けたい地域として宝塚市が市政 70 周年を迎えられたからこそ、宝塚に住むまたは来る人々が、普段あまり触れることのない海外の文化を共に前向きに体感できたイベントとなった。今後更に世界の人々は様々な大きな存在に翻弄されていくだろうが、宝塚市民はその人々に心を寄せつつ、身近な多様性を重視し、自分たちの居場所を共に作っていきける基盤作りに、70 周年を祝うと共に貢献した。	

4 事業の効果・成果

来場者が

1. 「わくわく」したひとときを過ごした
2. 世界の多様な文化を「粹なく」知れた
3. 世界の多様な文化を「粹なく」もっと知りたいと思った
4. 世界の課題に敏感になるきっかけを得た
5. 多様性の素晴らしさを感じた
6. 多様性が重んじられたまちづくりを、宝塚においてしていきたいと感じるきっかけを得た

5 実施した安全対策

- 消防署に確認をとりつつ、消火器が必要な出展者には準備するよう依頼をした
- 食品薬務衛生課に届出をし、食品衛生対策が必要な出展者には詳細を伝えた
- イベント保険に加入し、いざという時に備えた
- 悪天候時のイベント中止に備え、出展者へ連絡方法を明確にしておいた